

令和 6 年

三重県議会定例会会議録

(5 月 16 日)
(第 11 号)

第 11 号
5 月 16 日

令和 6 年

三重県議会定例会会議録

第 11 号

○令和 6 年 5 月 16 日（木曜日）

議事日程（第11号）

令和 6 年 5 月 16 日（木） 午前10時開議

- 第 1 常任委員会の調査事項に関する報告の件
- 第 2 常任委員選任の件
- 第 3 議会運営委員選任の件
- 第 4 特別委員会設置並びに委員定数の件
- 第 5 特別委員選任の件
- 第 6 四日市港管理組合議会議員選挙の件
- 第 7 議案第90号

[採決]

会 議 に 付 し た 事 件

- 日程第 1 常任委員会の調査事項に関する報告の件
- 日程追加 議長辞職の件
- 日程追加 議長選挙の件
- 日程追加 副議長辞職の件
- 日程追加 副議長選挙の件
- 日程第 2 常任委員選任の件
- 日程第 3 議会運営委員選任の件
- 日程第 4 特別委員会設置並びに委員定数の件
- 日程第 5 特別委員選任の件

日程追加 常任委員辞任の件
日程第6 四日市港管理組合議会議員選挙の件
日程第7 議案第90号

会議に出欠席の議員氏名

出席議員 48名

1	番	荊原	広樹
2	番	伊藤	雅慶
3	番	世古	明
4	番	龍神	啓介
5	番	辻内	裕也
6	番	松浦	慶子
7	番	吉田	紋華
8	番	芳野	正英
9	番	川口	円
10	番	喜田	健児
11	番	中瀬	信之
12	番	平畑	武
13	番	中瀬古	初美
14	番	廣	耕太郎
15	番	石垣	智矢
16	番	山崎	博
17	番	野村	保夫
18	番	田中	祐治
19	番	倉本	崇弘
20	番	山内	道明
21	番	稲森	稔尚
22	番	下野	幸助

23	番	田	中	智	也
24	番	藤	根	正	典
25	番	小	島	智	子
26	番	森	野	真	治
27	番	杉	本	熊	野
28	番	藤	田	宜	三
29	番	野	口		正
30	番	石	田	成	生
31	番	村	林		聡
32	番	小	林	正	人
33	番	小	川	孝	栄
34	番	東			豊
35	番	長	田	隆	尚
36	番	今	井	智	広
37	番	稲	垣	昭	義
38	番	日	沖	正	信
39	番	舟	橋	裕	幸
40	番	三	谷	哲	央
41	番	服	部	富	男
42	番	津	田	健	児
43	番	中	嶋	年	規
44	番	青	木	謙	順
45	番	中	森	博	文
46	番	山	本	教	和
47	番	西	場	信	行
48	番	中	川	正	美

職務のため出席した事務局職員の職氏名

事務局長	高野吉雄
書記（事務局次長）	西塔裕行
書記（議事課長）	中村晃康
書記（議事課課長補佐兼班長）	橋本哲也
書記（議事課係長）	長谷川智史
書記（議事課主任）	辻詩保里

会議に出席した説明員の職氏名

知事	一見勝之
副知事	服部浩
副知事	野呂幸利
危機管理統括監	清水英彦
総務部長	後田和也
子ども・福祉部長	枅屋典子

午前10時0分開議

開 議

○議長（中森博文） ただいまから本日の会議を開きます。

諸 報 告

○議長（中森博文） 日程に入るに先立ち、報告いたします。

例月出納検査報告2件が提出されましたので、お手元に配付いたしました。

次に、説明のための出席要求につきましては、お手元に配付の名簿のとおり出席を求めました。

以上で報告を終わります。

常 任 委 員 長 報 告

○議長（中森博文） 日程第1、常任委員会の調査事項に関する報告の件を議題といたします。

本件に関し、医療保健子ども福祉病院常任委員会から、調査の経過等について報告いたしたい旨の申出がありますので、これを許します。川口 円医療保健子ども福祉病院常任委員長。

〔川口 円医療保健子ども福祉病院常任委員長登壇〕

○医療保健子ども福祉病院常任委員長（川口 円） 議長のお許しをいただきましたので、去る4月17日に、三重県児童虐待死亡事例等検証委員会報告書について調査するため開催した本委員会において、特に議論のありました事項について申し述べます。

令和5年5月に津市で発生した児童虐待事件に関し、三重県児童虐待死亡事例等検証委員会が取りまとめた再発防止に向けた報告書について、県当局から説明を受けました。

県当局におかれましては、検証結果を真摯に受け止め、二度とこのような事案が発生しないよう、次の2点を要望いたします。

まず、今回の事例は、母親が養育への不安を感じながらも、身近に相談できる人がおらず、孤独・孤立に陥った結果、発生した事案であるとも言えます。

県当局におかれましては、養育者に寄り添った支援が推進されるよう、関係機関や関係者と連携しながら取り組むことを要望します。

次に、今回の検証結果を受け、県の再発防止策が示されたところですが、今回の事案の対象自治体はもとより、それ以外の自治体においても、再発防止に向けた検証を行っていただくことが重要です。

県当局におかれましては、市町と連携の上、市町の取組状況等について確認しながら、市町と共に再発防止に向けた取組を進めていただくことを強く要望いたします。

以上、御報告申し上げます。

○議長（中森博文） 以上で、常任委員長の報告を終わります。

休 憩

○議長（中森博文） 着席のまま、暫時休憩いたします。
午前10時5分休憩

午前10時6分開議

開 議

○副議長（杉本熊野） 休憩前に引き続き会議を開きます。

日程追加・議長の辞職

○副議長（杉本熊野） この際、申し上げます。

中森博文議長から辞職願が提出されましたので、会議規則第18条第1項の規定により、議長辞職の件を日程に追加し、直ちに議題といたします。

お諮りいたします。中森博文議長の辞職を許可することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○副議長（杉本熊野） 御異議なしと認めます。よって、中森博文議長の辞職を許可することに決定いたしました。

〔45番 中森博文議員入場・着席〕

○副議長（杉本熊野） 前議長 中森博文議員の御挨拶があります。

〔45番 中森博文議員登壇〕

○45番（中森博文） 議長を退任するに当たりまして、一言御挨拶申し上げます。

昨年の4月の一般選挙により、48名の議員による新しい議会構成となる中、5月にこの議場において、第113代議長に推挙いただきました。

以来、二代表制の一翼を担う議会として、県民福祉の向上と県政の進展に寄与できるよう、議会運営に最善を尽くしてまいりました。

本日、ここに議長としての職責を終えることができましたのは、ひとえに杉本副議長をはじめ、議員皆様方の御指導と御支援の賜物であり、また、知事をはじめとする執行部の皆様の御協力のおかげと、衷心より厚く御礼申し上げる次第であります。

この1年を振り返ってみますと、6月のG7三重・伊勢志摩交通大臣会合に始まりまして、幸いにして歓迎レセプションで鏡開きの発声の役を承りました。非常に光栄に存ずるところでありますし、また8月には、ブラジル・サンパウロ州で三重県人会創立80周年記念式典にも参加させていただくことができました。この場では、やはり議会として、何かできることということでも私の得意技を披露させていただいたことも昨年の8月でございました。

もとより、7月には全国都道府県議会議長会の副会長にも就任していたということもありまして、いろいろ活動をさせていただきました。三重県議会の中で活動をしなくちゃいけないことはもちろんですけれども、外での活動をする機会をいただきましたことは非常に光栄に存ずるところでございます。

また、今年になって、3月、4月には、敬宮愛子内親王殿下、そして三笠宮彬子女王殿下の御来県に対しましても、エスコートというんですか、御案内させていただき、三重県を発信できた。議長として、議会を代表する者として恥じることはない、光栄な行動をさせていただきましたことも御案内のとおりでございます。

非常にこの1年、充実した1年であったと私が思うわけであります。

特に、全国都道府県議会議長会においては、さきに申しましたように、東海北陸7県の議会で推挙され、全国の副会長に就任して以来、私も、三重県議会議長として、いろんな接点を多く取りながら、何かできること、何かしなくてはいけないことを模索していたところ、徳島県議会の議長が女性であるということと、我が三重県議会の副議長が女性であること、そして、全国の会長県であります富山県議会の副議長が女性であること、そして、若い議長であるということ。これは、女性の活躍、そして、若い世代が議会の正副議長に就任できるような環境になっていることをしっかりとこの目で見なが

ら、岡田理絵徳島県議会議長と共に、全国の会長である山本富山県議会議長のところへ直談判に行きまして、女性や若者、多様な人材が活躍できる、全国の議会に発信できるような取組をしていただけないかと、このように進言させていただき、早速、全国都道府県議会議長会でそれが承認されたということでございます。

我が杉本副議長が、もちろんそのメンバーに参画していただいて、立派な成果品を3月に取りまとめていただき、早速、私も岡田理絵座長と共に報告させていただいたところでございます。

いずれにしましても、そういうことが、少なからずも、三重県議会として、私にできることであったのかなと思います。

これはひとえに、御案内のとおり、三重県議会議長の任期は何年ですの、2年以内ということを行いながら、信頼を勝ち取る、そして、いろんな対外的にアピールできる機会をいただいたということが、非常に私にとりましても、この三重県議会にとりましても、非常に幸いなことであったのかなと思います。

新しい議長、副議長が誕生されます。皆様方の支援をいただいて、会派を問わず政党を問わず、一枚岩になって、三重県議会、頑張っていていただいて、そして私もその一員として、微力ながらこれからも邁進するつもりでございます。

県政発展のために、皆様方と一緒にこれからも取り組むことをお誓い申し上げまして、議長退任に当たりましての御礼並びに感謝の気持ちを申し上げます。

1年間どうもありがとうございました。（拍手）

日程追加・議長の選挙

○副議長（杉本熊野） この際、申し上げます。

会議規則第18条第1項の規定により、議長選挙の件を日程に追加し、直ちに議長の選挙を行います。

選挙は投票により行います。

議場を閉鎖いたします。

〔議 場 閉 鎖〕

○副議長（杉本熊野） ただいまの出席議員数は47名であります。

お諮りいたします。会議規則第24条第2項の規定により、立会人として、

1 番 荊 原 広 樹 議員

4 番 龍 神 啓 介 議員

を指名いたしたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○副議長（杉本熊野） 御異議なしと認めます。よって、立会人に、1 番 荊原広樹議員、4 番 龍神啓介議員を指名いたします。

投票用紙と名札を配付いたします。

〔投票用紙、名札配付〕

○副議長（杉本熊野） 投票用紙と名札の配付漏れはありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○副議長（杉本熊野） 配付漏れなしと認めます。

投票箱を改めさせます。

〔投 票 箱 点 検〕

○副議長（杉本熊野） 異状なしと認めます。

念のため申し上げます。

投票は単記無記名であります。

投票用紙に被選挙人の氏名を記載の上、名札を持参し、議席順に、1 番 荊原広樹議員から順次投票願います。

〔投 票 執 行〕

○副議長（杉本熊野） 投票漏れはありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○副議長（杉本熊野） 投票漏れなしと認めます。

投票を終了いたします。

議場の閉鎖を解きます。

〔議 場 開 鎖〕

○副議長（杉本熊野） これより開票を行います。

立会人の方、立会いをお願いします。

〔開 票〕

○副議長（杉本熊野） 選挙の結果を報告いたします。

投票総数 47票

有効投票 45票

無効投票 2票

有効投票中

稲 垣 昭 義 議員 43票

稲 森 稔 尚 議員 1票

吉 田 紋 華 議員 1票

以上のとおりであります。

この選挙の法定得票数は12票であります。よって、稲垣昭義議員が議長に
当選されました。

投 票 者 氏 名

1	番	荊 原 広 樹
2	番	伊 藤 雅 慶
3	番	世 古 明
4	番	龍 神 啓 介
5	番	辻 内 裕 也
6	番	松 浦 慶 子
7	番	吉 田 紋 華
9	番	川 口 円
10	番	喜 田 健 児
11	番	中 瀬 信 之

12	番	平 畑	武
13	番	中瀬古	初 美
14	番	廣	耕太郎
15	番	石 垣	智 矢
16	番	山 崎	博
17	番	野 村	保 夫
18	番	田 中	祐 治
19	番	倉 本	崇 弘
20	番	山 内	道 明
21	番	稲 森	稔 尚
22	番	下 野	幸 助
23	番	田 中	智 也
24	番	藤 根	正 典
25	番	小 島	智 子
26	番	森 野	真 治
27	番	杉 本	熊 野
28	番	藤 田	宜 三
29	番	野 口	正
30	番	石 田	成 生
31	番	村 林	聡
32	番	小 林	正 人
33	番	谷 川	孝 栄
34	番	東	豊
35	番	長 田	隆 尚
36	番	今 井	智 広
37	番	稲 垣	昭 義
38	番	日 沖	正 信
39	番	舟 橋	裕 幸

40	番	三	谷	哲	央
41	番	服	部	富	男
42	番	津	田	健	児
43	番	中	嶋	年	規
44	番	青	木	謙	順
45	番	中	森	博	文
46	番	山	本	教	和
47	番	西	場	信	行
48	番	中	川	正	美

○副議長（杉本熊野） 議長に当選されました稲垣昭義議員が議場におられますので、当選の通知をいたします。

稲垣昭義議長、御挨拶を願います。

〔稲垣昭義議長登壇〕

○議長（稲垣昭義） 議長就任に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

ただいまの議長選挙におきまして、皆様からの温かい御支持をいただき、第114代三重県議会議長の重責を担うこととなりました。誠に身に余る光栄であり、御厚情に対しまして、心から感謝申し上げます。

この上は、中森前議長の輝かしい実績を引き継ぎ、二元代表制の一翼を担う三重県議会議長の職責の重みを胸に刻み、三重県議会基本条例の基本理念と基本方針に基づいて議会改革を推進するとともに、円滑な議会運営を図り、三重の明日を切り開くため、全力を尽くす覚悟でございます。

議員の皆様のお指導、御鞭撻並びに知事をはじめ執行部の方々の御協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。（拍手）

○副議長（杉本熊野） 稲垣昭義議長、議長席にお着き願います。

〔杉本熊野副議長退席・退場、稲垣昭義議長議長席に着く〕

日程追加・副議長の辞職

○議長（稲垣昭義） この際、申し上げます。

杉本熊野副議長から辞職願が提出されましたので、会議規則第18条第1項の規定により、副議長辞職の件を日程に追加し、直ちに議題といたします。

お諮りいたします。杉本熊野副議長の辞職を許可することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（稲垣昭義） 御異議なしと認めます。よって、杉本熊野副議長の辞職を許可することに決定いたしました。

〔27番 杉本熊野議員入場・着席〕

○議長（稲垣昭義） 前副議長 杉本熊野議員の御挨拶があります。

〔27番 杉本熊野議員登壇〕

○27番（杉本熊野） 副議長を退任するに当たり、御挨拶申し上げます。

昨年5月に、皆様の御推挙により第117代副議長に就任いたしましてから1年が経過し、本日、職を辞することとなりました。

在任中は、中森前議長をはじめ、議員の皆様方にはお力添えをいただき、また、知事をはじめ執行部の皆様に御協力いただきましたこと、議会事務局の皆様方にお支えいただいたことに心から感謝し、厚く御礼申し上げます。

二元代表制の下、本県議会が真価を発揮できるよう、多様な考え方を踏まえた議論を重ね、党派を超えて一枚岩になる。このことを実現できるよう、微力ではございますが、議長をお支えしながら議会運営に当たらせていただいた1年ございました。

また今日、若者の政治への関心、政治参加の向上は社会的な課題であり、広聴広報の果たすべき役割がこれまで以上に重要なものになっている中、座長を務めさせていただきました広聴広報会議では、委員の皆様には終始活発に御議論いただき、現状や問題意識等を共有しつつ、本県議会の広聴広報の在り方、方向性について、熱い議論を展開していただきました。今後の主催者教育推進の端緒を開くことができたのではないかと考えております。

加えて、みえ県議会だよりやみえ県議会新聞等では、みえ現場 d e 県議会
で直接伺った意見等も踏まえ、新たな取組にもチャレンジしていただきました。

さらに、本県議会において、60年ぶり、2人目の女性の副議長として、女
性の一層の政治参画への一助となるよう取り組ませていただいた1年でもご
ざいました。

特に、中森前議長の進言によって設置されました全国都道府県議会議長会
の多様な人材が輝く議会のための懇談会では、委員として参画させていただ
き、本県議会の取組はもとより、県内市町議会の女性議員の思いや県内企業
の優れた取組等を発信し、この懇談会の提言に反映することができました。

このように、伝統ある三重県議会の副議長を務めさせていただきましたこ
とは、私にとりましては大変ありがたく貴重な経験でありました。

今後は一議員として、この経験をしっかりと生かし、県政発展のためにさ
らに力を尽くしてまいる決意でございます。

皆様の御指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、退任の御挨拶とさ
せていただきます。誠にありがとうございました。（拍手）

日程追加・副議長の選挙

○議長（稲垣昭義） この際、申し上げます。

会議規則第18条第1項の規定により、副議長選挙の件を日程に追加し、直
ちに副議長の選挙を行います。

選挙は投票により行います。

議場を閉鎖いたします。

〔議 場 閉 鎖〕

○議長（稲垣昭義） ただいまの出席議員数は47名であります。

お諮りいたします。会議規則第24条第2項の規定により、立会人として、

2番 伊藤雅慶 議員

5番 辻内裕也 議員

を指名したいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（稲垣昭義） 御異議なしと認めます。よって、立会人に、2番 伊藤雅慶議員、5番 辻内裕也議員を指名いたします。

投票用紙と名札を配付いたします。

〔投票用紙、名札配付〕

○議長（稲垣昭義） 投票用紙と名札の配付漏れはありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（稲垣昭義） 配付漏れなしと認めます。

投票箱を改めさせます。

〔投票箱点検〕

○議長（稲垣昭義） 異状なしと認めます。

念のため申し上げます。

投票は単記無記名であります。

投票用紙に被選挙人の氏名を記載の上、名札を持参し、議席順に1番 荊原広樹議員から順次投票を願います。

〔投票執行〕

○議長（稲垣昭義） 投票漏れはありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（稲垣昭義） 投票漏れなしと認めます。

投票を終了いたします。

議場の閉鎖を解きます。

〔議場開鎖〕

○議長（稲垣昭義） これより開票を行います。

立会人の方、立会いを願います。

〔開票〕

○議長（稲垣昭義） 選挙の結果を報告いたします。

投票総数 47票

有効投票 47票

無効投票 0票

有効投票中

小林正人 議員 45票

稲森稔尚 議員 1票

吉田紋華 議員 1票

以上のとおりであります。

この選挙の法定得票数は12票であります。よって、小林正人議員が副議長に当選されました。

投票者氏名

1	番	荊原 広樹
2	番	伊藤 雅慶
3	番	世古 明
4	番	龍神 啓介
5	番	辻内 裕也
6	番	松浦 慶子
7	番	吉田 紋華
9	番	川口 円
10	番	喜田 健児
11	番	中瀬 信之
12	番	平畑 武
13	番	中瀬古 初美
14	番	廣 耕太郎
15	番	石垣 智矢
16	番	山崎 博
17	番	野村 保夫
18	番	田中 祐治

19	番	倉	本	崇	弘
20	番	山	内	道	明
21	番	稻	森	稔	尚
22	番	下	野	幸	助
23	番	田	中	智	也
24	番	藤	根	正	典
25	番	小	島	智	子
26	番	森	野	真	治
27	番	杉	本	熊	野
28	番	藤	田	宜	三
29	番	野	口		正
30	番	石	田	成	生
31	番	村	林		聡
32	番	小	林	正	人
33	番	谷	川	孝	栄
34	番	東			豊
35	番	長	田	隆	尚
36	番	今	井	智	広
37	番	稻	垣	昭	義
38	番	日	沖	正	信
39	番	舟	橋	裕	幸
40	番	三	谷	哲	央
41	番	服	部	富	男
42	番	津	田	健	児
43	番	中	嶋	年	規
44	番	青	木	謙	順
45	番	中	森	博	文
46	番	山	本	教	和

47 番

西 場 信 行

48 番

中 川 正 美

○議長（稲垣昭義） 副議長に当選されました小林正人議員が議場におられますので、当選の通知をいたします。（拍手）

小林正人副議長、御挨拶を願います。

〔小林正人副議長登壇〕

○副議長（小林正人） 副議長就任に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

ただいま、多くの議員の皆様の御推挙により、第118代三重県議会副議長の要職を担うこととなりました。大変光栄に存じますとともに、職責の重大さに身の引き締まる思いでございます。改めて、議員の皆様の御高配に対しまして、心より御礼申し上げます。

この上は、微力ではございますが、稲垣議長を補佐し、円滑な議会運営に努め、開かれた県議会の実現と県政発展のため、最善の努力をしまいる所存でございます。

議員の皆様の御指導、並びに知事はじめ執行部の方々の御協力をお願い申し上げます。就任の御挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

（拍手）

休

憩

○議長（稲垣昭義） 暫時休憩いたします。

午前10時56分休憩

午前11時20分開議

開

議

○議長（稲垣昭義） 休憩前に引き続き会議を開きます。

常 任 委 員 の 選 任

○議長（稲垣昭義） 日程第2、常任委員選任の件を議題といたします。

お諮りいたします。常任委員会の委員の選任につきましては、委員会条例第6条第1項の規定により、議長から、お手元に配付の各常任委員名簿のとおり、それぞれ指名いたしたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（稲垣昭義） 御異議なしと認めます。よって、それぞれ議長指名のとおり決定いたしました。

常任委員名簿

会派	総務地域連携交通 (8名)	政策企画雇用経済観光 (8名)	環境生活農林水産 (8名)	医療保健子ども福祉病院 (8名)	防災県土整備企業 (8名)	教育警察 (8名)
新 政 み え	3名 芳野正英 森野真治 三谷哲央	3名 世古明 平畑武 舟橋幸裕	3名 川口耕太郎 廣根正典 藤根正典	4名 伊藤雅智 田中智子 小島本野 杉本熊野	4名 中瀬信之 中瀬美初 稲垣昭義 日沖正信	4名 荊原広樹 喜田健児 下野幸助 藤田宜三
自由民主党	3名 山崎博 野村夫 山本和教	3名 石智矢 小林正文 中林博文	4名 辻内裕也 田野祐治 西野正行 山口信行	3名 石田成生 津田健児 中嶋規年	3名 龍神啓介 村林聡 中川美正	3名 松浦慶子 服部富男 青木順
草 莽	1名 倉本崇弘	1名 谷川孝栄		1名 東 豊	1名 長田隆尚	
公 明 党		1名 山内道明	1名 今井智広			
草の根運動いしが						
日本共産党	1名 吉田紋華					1名 稲森稔尚

常任委員名簿

会派	委員名 (定数)	予算	決算	算									
新	政 党 み え	藤原 啓	樹 広	伊喜 廣	藤田 喜	慶 兒	世 中	古 瀬	明 之	芳 平	野 畑	正 智	英 武
		中瀬 根	巴 初	廣 小	喜 廣	田 喜	兒 耕	下 森	野 野	信 幸	平 田	中 本	熊 哲
自	由 民 主 党	龍崎 山	啓 博	野 村	辻 野	也 夫	松 田	浦 中	子 治	石 野	垣 口	智 富	矢 正
		山 本	成 健	中 西	村 鳴	野 村	聡 規	小 青	林 木	人 順	服 中	部 森	博 文
草	莽 党	倉 本	崇 弘	谷 川	倉 孝	榮 規	東 豊	4名	4名	長 田	隆 尚	尚	
公	明 党	山 内	道 明	今 井	智 広	2名	2名	2名	2名				
草	の 根 運 動 い が	稻 森	稔 尚	1名	1名	1名	1名	1名	1名				
日	本 共 産 党	吉 田	紋 華	1名	1名	1名	1名	1名	1名				

議 会 運 営 委 員 の 選 任

○議長（稲垣昭義） 日程第3、議会運営委員選任の件を議題といたします。

お諮りいたします。議会運営委員会の委員の選任につきましては、委員会条例第6条第1項の規定により、議長から、お手元に配付の議会運営委員名簿のとおり、指名いたしたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（稲垣昭義） 御異議なしと認めます。よって、議長指名のとおり決定いたしました。

議 会 運 営 委 員 名 簿

会派	委員会名 (定数)	議 会 運 営 (8名)
		4名
新 政 み え		田 中 智 也 藤 根 正 典 小 島 智 子 藤 田 宜 三
		3名
自 由 民 主 党		田 中 祐 治 村 林 聡 服 部 富 男
		1名
草 莽		倉 本 崇 弘
公 明 党		
草 の 根 運 動 い が		
日 本 共 産 党		

特 別 委 員 会 設 置 並 び に 委 員 定 数

○議長（稲垣昭義） 日程第4、特別委員会設置並びに委員定数の件を議題といたします。

お諮りいたします。特別委員会の設置並びに委員定数につきましては、お手元に配付の一覧表のとおりとし、調査終了まで継続調査を認めることといたしたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（稲垣昭義） 御異議なしと認めます。よって、特別委員会の設置並びに委員定数につきましては、お手元に配付の一覧表のとおりとし、調査終了まで継続調査を認めることに決定いたしました。

特別委員会設置一覧表

名 称	所 管 事 項	定数
伊勢茶の振興に関する条例策定調査特別委員会	伊勢茶の振興に関する条例の策定に向け、調査・検討を行うこと	10
ワンヘルス推進調査特別委員会	ワンヘルス（人の健康、動物の健康、環境の健全性を一つの健康と捉え、一体的に守っていく考え方）の推進について調査すること	10

特別委員の選任

○議長（稲垣昭義） 日程第5、特別委員選任の件を議題といたします。

お諮りいたします。特別委員会の委員の選任につきましては、委員会条例第6条第1項の規定により、議長から、お手元に配付の特別委員名簿のとおり指名いたしたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（稲垣昭義） 御異議なしと認めます。よって、議長指名のとおり決定いたしました。

特別委員名簿

会派	委員会名 (定数)	伊勢茶の振興に関する条例 策定調査特別委員会 (10名)	ワンヘルス推進調査特別委員会 (10名)
新 政 み え	5名	世古明 中瀬信之 中瀬古初美 杉本熊野 舟橋裕幸	4名 荊原広樹 伊藤雅慶 廣耕太郎 三谷哲央
	4名	辻内裕也 村林聡 津田健児 山本教和	4名 龍神啓介 松浦慶子 服部富男 西場信行
草 莽	1名	長田隆尚	1名 倉本崇弘
公 明 党			1名 山内道明
草 の 根 運 動 い が			
日 本 共 産 党			

休 憩

○議長（稲垣昭義） 着席のまま、暫時休憩いたします。
午前11時22分休憩

午前11時23分開議

開 議

○副議長（小林正人） 休憩前に引き続き会議を開きます。

日程追加・常任委員の辞任

○副議長（小林正人） この際、申し上げます。

稲垣昭義議員から防災県土整備企業常任委員の辞任願が提出されましたので、会議規則第18条第1項の規定により、常任委員辞任の件を日程に追加し、直ちに議題といたします。

お諮りいたします。委員会条例第10条第1項の規定により、稲垣昭義議員の防災県土整備企業常任委員の辞任を許可することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○副議長（小林正人） 御異議なしと認めます。よって、稲垣昭義議員の防災県土整備企業常任委員の辞任を許可することに決定いたしました。

この際、申し上げます。

ただいま選任されました各常任委員会、議会運営委員会並びに特別委員会の委員の方々は、それぞれの委員会において委員長及び副委員長を互選の上、御報告願います。

休 憩

○副議長（小林正人） 常任委員会、議会運営委員会並びに特別委員会の委員長及び副委員長互選のため、暫時休憩いたします。

午前11時24分休憩

午後1時20分開議

開 議

○議長（稲垣昭義） 休憩前に引き続き会議を開きます。

諸 報 告

○議長（稲垣昭義） この際、報告いたします。

各常任委員会、議会運営委員会並びに特別委員会において、それぞれ委員長及び副委員長を、お手元に配付の委員長及び副委員長名簿のとおり互選した旨の報告がありました。

次に、議案第90号が提出されましたので、お手元に配付いたしました。
以上で報告を終わります。

委員長及び副委員長名簿

(各常任委員会、議会運営委員会、各特別委員会)

委 員 会	委 員 長	副 委 員 長
総務地域連携交通常任委員会	野村 保夫	芳野 正英
政策企画雇用経済観光常任委員会	石垣 智矢	世古 明
環境生活農林水産常任委員会	廣 耕太郎	辻内 裕也
医療保健子ども福祉病院常任委員会	石田 成生	伊藤 雅慶
防災県土整備企業常任委員会	中瀬 信之	龍神 啓介
教育警察常任委員会	喜田 健児	松浦 慶子
予算決算常任委員会	小島 智子	野村 保夫
議会運営委員会	田中 智也	田中 祐治
伊勢茶の振興に関する条例策定調査特別委員会	中瀬古初美	津田 健児
ワンヘルス推進調査特別委員会	服部 富男	荊原 広樹

提 出 議 案 件 名

議案第90号 監査委員の選任につき同意を得るについて

四日市港管理組合議会議員の選挙

○議長（稲垣昭義） 日程第6、四日市港管理組合議会議員の選挙を行います。

なお、選挙すべき議員の数は3名であります。

お諮りいたします。選挙の方法については、地方自治法第118条の規定に

より指名推選とし、指名の方法は、議長において指名いたしたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（稲垣昭義） 御異議なしと認め、ただいまから指名いたします。

松 浦 慶 子 議員

芳 野 正 英 議員

谷 川 孝 栄 議員

以上の方々を指名いたします。

ただいま指名いたしました3名の方を当選人と定めることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（稲垣昭義） 御異議なしと認めます。よって、ただいま指名いたしました3名の方が四日市港管理組合議会議員に当選されました。

当選されました方が議場におられますので、当選の通知をいたします。

監 査 委 員 の 選 任

〔12番 平畑 武議員、16番 山崎 博議員離席・退場〕

○議長（稲垣昭義） 日程第7、議案第90号を議題といたします。

お諮りいたします。本件は人事案件につき、提案説明、質疑並びに委員会付託を省略し、直ちに採決いたしたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（稲垣昭義） 御異議なしと認め、そのように決定いたしました。

採 決

○議長（稲垣昭義） これより採決に入ります。

議案第90号を、押しボタン式投票により採決いたします。

本案に同意することについて、投票願います。

〔投票開始〕

○議長（稲垣昭義） 押し間違いはございませんか。

投票漏れはございませんか。

間もなく投票を終了いたします。

これにて投票を終了いたします。

〔投票終了〕

○議長（稲垣昭義） 投票の結果を報告いたします。

賛成 45

反対 0

よって、本案は同意することに決定いたしました。

〔12番 平畑 武議員、16番 山崎 博議員入場・着席〕

○議長（稲垣昭義） これをもって本日の日程は終了いたしました。

休 会

○議長（稲垣昭義） お諮りいたします。明17日から6月2日までは、委員会の所管事項調査等のため休会といたしたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（稲垣昭義） 御異議なしと認め、明17日から6月2日までは、委員会の所管事項調査等のため休会とすることに決定いたしました。

6月3日は、定刻より本会議を開きます。

散 会

○議長（稲垣昭義） 本日はこれをもって散会いたします。

午後1時24分散会